

12

赤囲みで大きく扱っているページ を見てみよう

年 組 番

氏名



これ、知っておこう！

この英和辞典には、1 ページ、2 ページ、または3 ページを赤い線で囲んでいるところがあります。

たとえば **by** (96 ページ)。見出し語のすぐ下の^{うす}薄い赤色の部分にあるように、品詞は**前**と**副**の2つですが、**前**には①から⑨まで、大きく分けて9つも意味があります。1つの単語にこれだけの意味があるので、英語の文にもよく登場する語です。

赤囲みで大きく^{あつ}扱っている語は特に重要な語で、使い方もさまざまです。語義や用例だけでなく囲み記事やイラストも参考にして、どんな語で、どんな意味があって、どんな働きをするのか、しっかり理解しましょう。

前置詞の語義は9つ

品詞は
2つ

by [bai バイ]

- ① 《手段・方法》…によって
- ② 《場所・位置》…の(すぐ)そばに[の]
- ③ 《受け身の文で》…によって
- ④ 《期限》…までに(は)
- ⑤ 《経路》…を通して
- ⑥ 《程度・差異》…だけ、…で
- ⑦ 《基準》…単位で
- ⑧ 《体の部分を表して》…を
- ⑨ 《数学》…を掛(※)けて；…で割って

そばに[を]

これ、やってみよう！



1 次の語のうち、指示された語義番号の最初の赤字の語義を書こう。問題①は赤字の前の()の部分も書こう。

(例) – at (①と②) ① (《場所の一点》…に) ② (《時・年齢の一点》…に)

① to (①と②) ① () ② ()

② come (①と②) ① () ② ()

③ have (他①と③) 他① () ③ ()

④ see (他①と②) 他① () ② ()

2 次の用例やイディオムの意味を下線の語を引いて調べてみよう。

① get old () ② get along ()

③ give a smile () ④ give up ()

⑤ go camping () ⑥ Go for it! ()